

2021年8月31日

奄美医療生協組合員のみなさまへ

奄美医療生活協同組合
専務理事 祐名 新太郎

2021年8月29日（日）に鹿児島県より報告された奄美市の医療機関クラスターに奄美中央病院が認定されました。

今回のクラスターの発生により、罹患されました患者様及び職員に対しお見舞い申し上げますと共に患者や利用者、組合員また職員や家族へ多大な不安やご迷惑をおかけ致しました事に対し深くお詫び申し上げます。

感染が確認された入院患者様及び職員は入院の継続や自宅療養により経過をみながら必要な療養を実施しております。また、濃厚接触者に該当していない患者や職員に対しても、感染予防や不安を軽減する観点から全員へスクリーニングのPCR検査を実施しているところです。事業所内の感染対策については、県や県立大島病院、鹿児島生協病院の感染対策認定看護師の指導も仰ぎながら、体調管理やゾーンニング等の感染対策の徹底・強化を行い感染拡大防止に努め、一刻も早い感染収束に取り組んでいます。

これまでも奄美中央病院では行政や医師会、他医療機関と連携してワクチン接種会場や療養者宿泊施設等への職員の配置や有熱者外来の設置等、地域医療や感染予防を支える活動を全職員の奮闘により取り組んできました。しかし、今回のクラスター発生により外来や通所リハビリ等の一部の事業活動を休止する事で患者や利用者及び地域の皆様へご迷惑をお掛けする事になりましたことに対し改めてお詫び申し上げます。

奄美中央病院では新型コロナウイルスの感染者が確認されて以降も全職員が協力しながら、患者や利用者に現在必要な医療や介護の提供が出来るよう、電話診療や他の介護サービス利用の手続き等、可能な限り対応を進めさせて頂いております。

今回発生いたしましたクラスター感染の収束及び通常診療等の再開に向け、引き続き全職員が一丸となって全力を挙げて取り組んでいますことに対しまして、皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、感染者等の動向につきましては奄美中央病院のホームページにて随時ご報告させていただきますのでご了承ください。